

令和5年3月16日  
 JA中野市営農センター  
 JA中野市プラム部会

**生育は平年より早く推移 ・ 凍霜害対策の準備をお願い致します。**

2月、3月上旬の平均気温は平年より高く、生育の早かったR3より遅れていると思われませんが、平年より早く開花期を迎えると予想されております。  
 本年も凍霜害が心配されます。別紙、「凍霜害対策特報」を参考に対策を講じてください。

(平岡定点 開花日) 「平岡地区 太陽 開花予想 4月3日」

平年	R2	R3	R4	R5 (本年)
4/14	4/8	4/2	4/12	4/3 ?

1. プラム薬剤散布 (今回、プルーンの防除はありません)

【第2回 定期防除】 対象病害虫：黒斑病、かいよう病

散布時期	・ 開花1～2輪咲き頃 (3月末～4月上旬)	
散布薬剤	水 100ℓ当り ICボルドー412 3.3kg	散布日 _____ 月 _____ 日 散布量 _____ ℓ
散布量	10aあたり 350ℓ	
注意事項	*他の園地にかからないよう散布する。 ① 展葉後の散布は薬害を生じる恐れがあるため、散布時期を厳守する。 ② 【黒斑病 (かいよう病) 強化 対策】 固着性展着剤「アピオンE」の1000倍を加用する。	

次ページもご覧ください

## 2. 凍霜害対策のポイント

### ①間接防止法

\***敷きワラ**：地温が上昇しにくく凍霜害が心配される時期が過ぎるまで、敷きワラは実施しない。

（敷きワラは凍霜害を助長する場合があります）

\***草刈り**：草生栽培園は、草丈を短く維持する。

\***かん水**：温かい日の日中に地上かん水を行い、地温を高めておく。

### ②防霜ファン

防霜ファン設置園は、2～3℃で作動開始し、6℃で停止するよう設定する。  
降雪・降雨の際は、防霜ファンを稼働しない。

### ●燃焼法

3/16 発行の「果樹凍霜害対策特報」を参照ください。

### ●プラム凍霜害発生危険温度（30分間 福島県農業総合センター）

\*目安としてご覧ください。

生 育 段 階		
色づいたつぼみ	開花中	小さい幼果
-5.0℃	-2.7℃	-1.1℃

## 3. 重要病害虫

### 黒斑病（かいよう病）

**越冬場所**：樹上（枝の病斑部や芽で越冬し、翌年の伝染源となる）

**感染時期**：落花期～梅雨期頃まで

**防除対策**：① 薬剤防除（開花前のボルドー散布、落花期頃からの抗生物質剤の散布）

\*抗生物質剤・・・アグレプト水和剤、マイコシールドなど

② 風当たりの強い園地は、防風ネット・防風林などを設置する。

③ 被害枝の切除

